

高校選抜（地区・全道）大会実施上の留意事項

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会が作成したガイドラインに準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 感染防止の基本的対策

(1) 状況により入場制限（無観客試合）を行う。会場内への出入りは試合当日に出場する選手およびマネージャー、監督（顧問）およびコーチ、役員、審判のみとする。

※マネージャーについては、監督（顧問）判断による。

(2) 体調不良、発熱や感冒症状で受診や服薬等をした生徒は参加させない。
受付時に健康状態確認シートを（自宅で検温）提出させる。

(3) 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。

(4) 試合が終了した選手は、監督（顧問）等と相談の上、速やかに帰宅する。

(5) 会場内においては、競技時以外の時間帯はマスクを着用する。（咳エチケット）

(6) 適宜手洗いやうがい等により予防に努める。

(7) 会場出入口には、アルコール消毒薬等を設置する。

(8) 共用物品は定期的に消毒を行う。

(9) ゴミはすべて各自で持ち帰り処分する。

3. 競技運営上の具体的対策

(1) 状況により、開閉会式は中止する。（競技説明等は関係書類を配布する）

(2) 状況により、競技（試合）時間を短縮する。

例→①試合前練習時間のカット、インターバルのカットおよび時間短縮

②ポイント制限、等

(3) 学校対抗団体戦実施において配慮する場合の対応策。

（ベンチでの密接場面を極力減らす目的）

例→①ベンチ椅子の設置については、会場の広さに余裕がある場合は椅子と椅子の間隔を開ける

②試合がある当該選手および監督・コーチ以外は、ベンチには入らず、観客席で応援する（コーチングシート以外、ベンチ（椅子）を設置しない等）

※試合時間が近づいたら、ベンチへ移動する。

(4) 線審および得点係生徒（補助生徒）の手配に配慮する場合の対応策。

例→線審は対戦校同士で行う

※可能であれば、補助生徒は配置しない

※線審および得点係はマスクを着用する（主審含む）

(5) コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バック等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバックに保管する。

- (6) シャトルの交換は、選手がシャトルを直接筒から取り出すか、選手が一定の距離に来たら投げて渡す。シャトルの交換時は選手が回収ボックス（カゴ等）に入れる。
- (7) 主審のコールは必要最小限とする。得点板がある場合は、コールをしない。
- (8) 応援する場合は、声を出さない。拍手をもって応援する。
- (9) 換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。
- (10) 試合開始時と終了時の選手同士および選手と主審との握手や試合中の選手同士のハイタッチ等の接触は控える。
- (11) 試合後の審判用具（筆記用具・ボード・カゴ）の消毒は必ず行う。

●大会スタッフおよび競技運営者は、感染拡大防止の観点から参加人数や会場スペース等、実情に合わせて上記具体的対策を参考に十分な協議の上、大会運営を進めること。

4. 当日の緊急時対応について

- (1) 当日、急に体調不良や発熱等の症状が出た場合は、監督（顧問）は該当生徒と相談の上、速やかに帰宅させる。（保護者への連絡）
- (2) 監督（顧問）は、他の選手・生徒への健康観察を徹底する。